具体的な子どもの姿と教師の手立て（例）

	主体的な学び		対話的な学び		深い学び	
	・粘り強く取り組む ・見通しをもつ ・自分と結び付ける ・振り返って次へつなげる ・興味や関心を高める		・多様な情報を収集する ・互いの考えを比較する ・先哲の考え方を手掛かりとする ・多様な手段で説明する ・思考を表現に置き換える ・共に考えを創り上げる ・協働して課題解決する		・知識・技能を習得する ・知識・技能を活用する ・自分の思いや考えと結び付ける ・思考して問い続ける ・知識や技能を概念化する ・自分の考えを形成する ・新たなものを創り上げる	
	具体的な子どもの姿	教師の手立て	具体的な子どもの姿	教師の手立て	具体的な子どもの姿	教師の手立て
見通す	・課題の解決に対する目的意識を明確にもっている。 ・困難な課題に挑戦しようとしている。 ・ゴールをイメージしながら解決しようとしている。 ・課題の解決に向けた自分の思いや願いをもち，進んで解決しようとしている。	・目的意識や相手意識が明確な課題の設定 ・挑戦意欲や知的好奇心をかきたてる課題の設定 ・子どもの問題意識からの課題の設定 ・具体物や体験活動等を取り入れ，驚きや疑問等を生み出し，課題につなぐ場の設定 ・既習事項や前時までのつながりを意識する場の設定 ・自己選択や自己決定をする場の設定	・他者の考えとの違いに気付き，その理由を知ろうとしている。 ・考える視点を他者と共有しようとしている。 ・課題を解決するために，多様な考えをもつ他者に関わろうとしている。 ・課題の解決につながりそうな情報（資料）を探したり，選択・吟味したりしている。	・集団で解決する必然性のある課題の設定 ・解決方法が多様な課題の設定 ・考える視点を共有する場の設定 ・予想に対する意見を話し合い，解決方法について吟味する場の設定 ・ルール（授業のあるべき姿）の共有化 ・交流の目当てをもったり，交流する意義を理解したりするような助言	・自分の気付きや疑問を表現している。 ・課題を明確にもっている。 ・課題の解決のための視点やゴールのイメージを明確にもっている。 ・課題の解決の方向性を見いだし，その解決方法を吟味している。	・各教科等の特質に迫る課題の設定 ・解が一つでない課題の設定 ・困難性のある課題の設定 ・実社会や実生活で活用できる課題の設定 ・認識が揺さぶられる課題の設定（認識のずれを生み出す情報の提示等） ・見通し（結果と解決方法）をもてる課題の設定 ・学習の方向性を共有する場の設定（予想や仮設を立てる）
探求する	・自分の考えた方法で探究しようとしている。 ・一度得られた解決方法について，更によい方法がないか，他の方法を試そうとしている。 ・困難な課題にも諦めずに取り組もうとしている。	・一人で解決方法等を考える時間の確保 ・自己の考えを整理したり，構造化したりする場の設定 ・自分の考えた方法で探究する場の設定 ・子どもに委ねられる場の設定 ・自由に応答できる環境づくり ・挑戦意欲をかき立てる助言 ・子どもが自ら情報収集できる環境づくり ・子どもが思考したり，表現したりしたことへの評価	・考えの根拠をもって，多様な表現で伝えようとしている。 ・問い返しながら相手の思いや考えを理解し，共有しようとしている。 ・互いの思いや考えを納得するまで伝え合い，分かり合おうとしている。 ・解決策につながる情報（資料）を収集・精査している。	・目的に合った小集団の設定及び交流方法の活用 ・必要感のある交流の場の設定（時間とタイミング） ・効果的な交流を行うための可視化の工夫（根拠のある交流の場） ・共通体験の場の設定 ・「問い返し」のある応答をする交流への助言 ・支持的風土に支えられた活動の保障（聞き合う関係づくり） ・課題の解決につながる情報提供	・多様な考えを比較・関連付けし，解決している。 ・自分の考えの根拠をもち，その考えを検証したり，最適解を求めたりしている。 ・解決のための多様な判断材料を集めて精査し，自分の考えを形成している。 ・解決のために，既習事項や経験と重ね合わせたり，つないだりしている。 ・一つの課題が解決しても，次の問いが生まれている。	・試行錯誤の場の設定 ・複数の考えを比較・関連付けする場の設定 ・課題に立ち戻り，解決の方向性を確認する場の設定 ・共通体験に基づいて，解決方法を多面的・多角的に考える場の設定 ・他教科等の学びと関連付ける場の設定 ・授業のねらいや各教科等の特質に応じた思考の可視化（多様な表現方法による形成的な評価） ・問いが連続する課題と授業展開（汎用性や一般化）
振り返る	・得られた解や学びの過程を自ら見つめ直そうとしている。 ・自らの学びに自信をもち，更に学ぶ意欲を高めている。 ・自分の成長について気付き，更にどのようになりたいか（したいか）について表現している。 ・新たに生じた疑問や課題について解決方法を考えようとしている。	・自己の変容を自覚する場の設定や助言 ・子どもの学びの過程に対する価値付け ・新しい課題への意欲の喚起 ・学んだことを生かし，自ら挑戦したくなる課題の提供 ・実社会や実生活とのつながりについて気付く資料等の提示（視野を広げる工夫） ・振り返りの視点を共有し，互いのよさや課題に気付くような助言	・学んだことや新たな疑問等を他者に伝えようとしている。 ・他者と共に学ぶことのよさを実感している。 ・他者の学びのよさに気付き，伝えたり自分に生かしたりしている。 ・他者評価を通じて自分の学びのよさや課題に気付いている。 ・自分の学びの過程や解決のために活用した情報を再度見直し，そのよさや課題を見いだしている。	・ペアや少人数のグループで，学習成果や学びの過程を吟味する場の設定 ・他者との学び合いや多様な情報収集，精査によって課題が解決したことへの価値付け ・多様な他者からの評価の場の設定（相互評価の場の設定） ・学習成果を他者に伝え，質問や疑問を受ける場を設定することで，方策を再検討する時間の保障	・分かったこと（できたこと）とまだよく分からないこと（できていないこと）を整理している。 ・得られた解を自分の言葉でまとめ表現している。 ・学んだことの意義や，教科等の特質に応じた学びの面白さを実感している。 ・学習成果を別の場面で生かしたり，他の解決方法を試したりしている。 ・自分の解決の仕方を見つめ直し，そのよさや課題を表現している。 ・次の学びにつながる課題を見いだしている。	・自分の学びを自分の言葉（表現）でまとめる時間の保障→自己評価の場の設定 ・思考を揺さぶり，学びの過程を再考する場の設定 ・多様な解の中から，最適解を選択する場の設定 ・実社会や実生活，既習の学び，他教科等との関連を価値付け ・学びを他の場面で活用したり，新たな疑問を生み出したりする情報提供や場の設定 ・新しい課題を見いだした子どもへの称賛と交流の場の設定